

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	1	事業名	大網白里町公共下水道事業		路線又は箇所名等		大網白里処理区		
事業所管課		下水道課			事業主体		大網白里町		
事業化年度	昭和61年度	用地着手年度	昭和62年度		工事着手年度	昭和61年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
				工事終了年度	平成52年度				
費用便益比 B/C	1.3	総費用	582億円	総便益	767億円	基準年	平成20年度	供用開始 年 度	平成3年度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
処理区域面積	740ha	498ha	441ha
処理人口	43,500人	25,440人	21,600人
大網白里町浄化センターの処理能力	23,800m ³ /日	13,300m ³ /日	11,900m ³ /日
事業費	337億円	252億円	234億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画498haに対して441haを整備し、整備率は89%である。
処理場用地の取得状況	全用地を取得済である。
処理施設の供用状況	事業計画の処理能力13,300m ³ /日に対し、11,900m ³ /日を整備済であり、整備率は89%である。
供用開始区域の接続状況	接続率は91%である。
地元情勢等	大網白里町議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

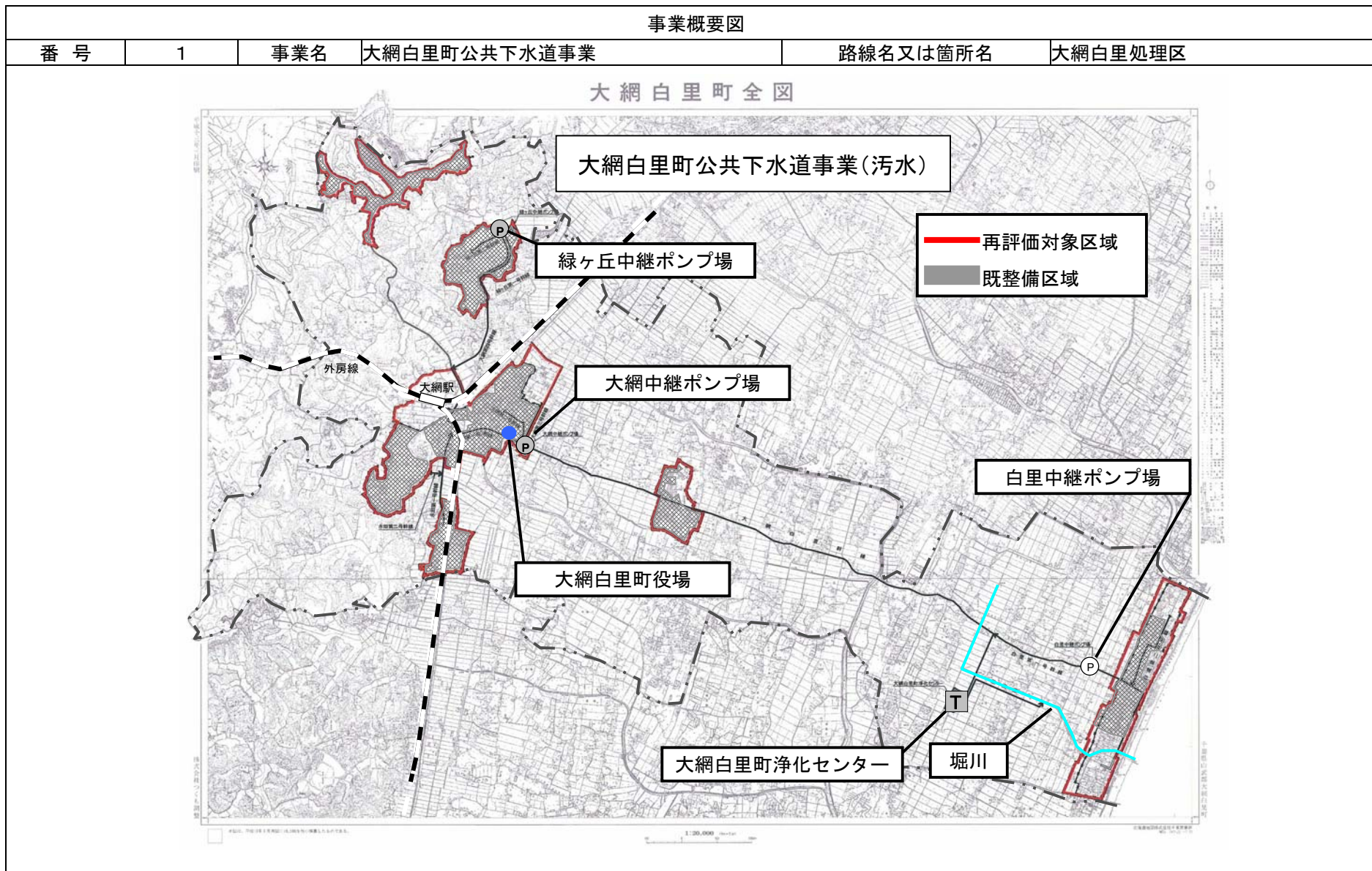
【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本町の市街化の状況や浄化槽との費用比較をした結果からも、下水道整備が最適。

【対応方針(案)】

大網白里町公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

【別紙様式 4】



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	1	事業名	大網白里町公共下水道事業	路線又は箇所名等	大網白里処理区	
事業化年度	昭和61年度	用地着手年度	昭和62年度	工事着手年度	昭和61年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	平成3年度	対応方針	継続	
B/C	—	総費用	—	総便益	—	
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		301億円	183億円			
用地取得面積		4.81ha	4.81ha			
供用面積(延長)		737ha	354ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	平成3年度	対応方針	継続	
B/C	1.3	総費用	582億円	総便益	767億円	
現在の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		337億円	234億円			
用地取得面積		4.81ha	4.81ha			
供用面積(延長)		740ha	441ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、概ね順調に事業が進展している。					

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	1	事業名	大網白里町公共下水道事業		路線又は箇所名等		小中川排水区他		
事業所管課		下水道課			事業主体		大網白里町		
事業化年度	昭和61年度	用地着手年度	平成4年度		工事着手年度	昭和61年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成52年度			
費用便益比 B/C	1.3~4.1	総費用	150億円	総便益	275億円	基準年	平成20年度	供用開始 年 度	平成3年度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
処理区域面積	296ha	157ha	120ha
処理人口	—	—	—
大網白里町浄化センターの処理能力	—	—	—
事業費	55億円	38億円	35億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画157haに対して120haを整備し、整備率は76%である。
処理場用地の取得状況	—
処理施設の供用状況	—
供用開始区域の接続状況	—
地元情勢等	大網白里町議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	—
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

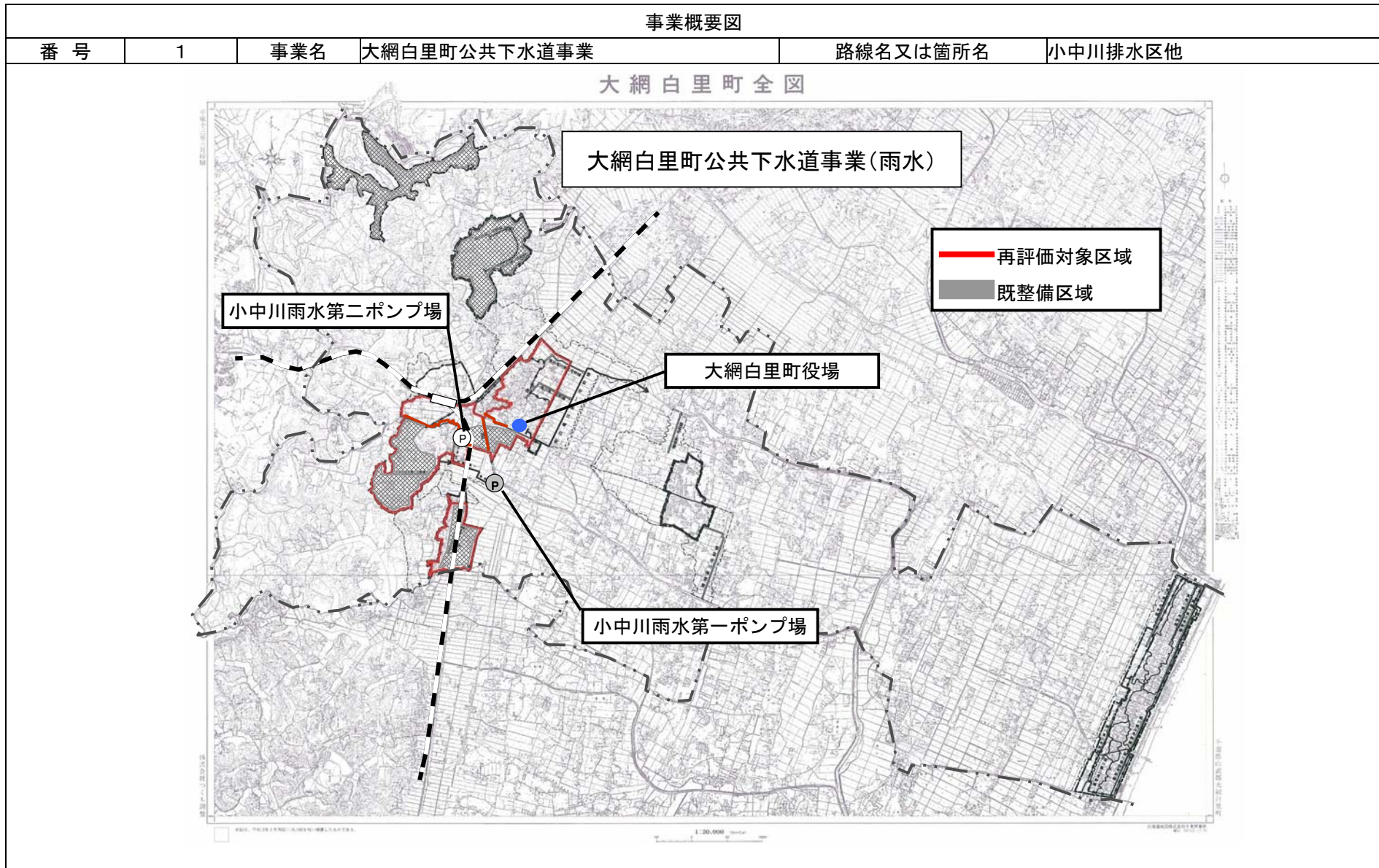
【コスト縮減・代替案】

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	—

【対応方針(案)】

大網白里町公共下水道事業については、今後も引続き整備が必要であることから、当事業を継続していく方針です。

【別紙様式 4】



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	1	事業名	大網白里町公共下水道事業	路線又は箇所名等	小中川排水区他	
事業化年度	昭和61年度	用地着手年度	平成4年度	工事着手年度	昭和61年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	平成3年度	対応方針	継続	
B/C	—	総費用	—	総便益	—	
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		45億円	16億円			
用地取得面積		0.24ha	0.24ha			
供用面積(延長)		296ha	118ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	平成3年度	対応方針	継続	
B/C	1.3~4.1	総費用	150億円	総便益	275億円	
現在の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		55億円	35億円			
用地取得面積		0.24ha	0.24ha			
供用面積(延長)		296ha	120ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、主に幹線管渠及びポンプ施設の建設を進めており、事業は進展している。					